

# リスクマネジメントの取り組み

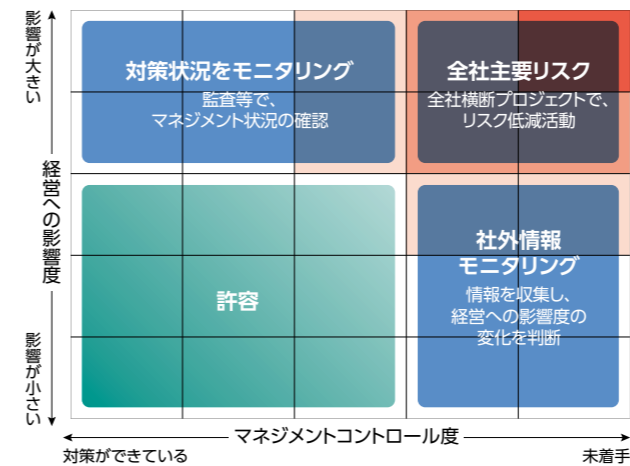
当社グループでは、経営の継続的、安定的発展に影響しかねない事象をリスクと認識し、リスクマネジメントの実践を通じ、内部統制システムの充実に取り組んでいます。

リスクの認識においては、その影響の大きさとコントロール度合いに応じて、リスク発生(顕在化)の可能性を評価し、対応すべきリスク項目を選定しています。そして、個々のリスクを各担当部門が継続的に監視するとともに、全社的なリスクはリスクマネジメント委員会で情報を共有し、そのリスクを評価、優先順位および対応策の効果などを総括的に管理し、特に下記の8つを主要なリスクに位置づけて抑制・回避に努めています。

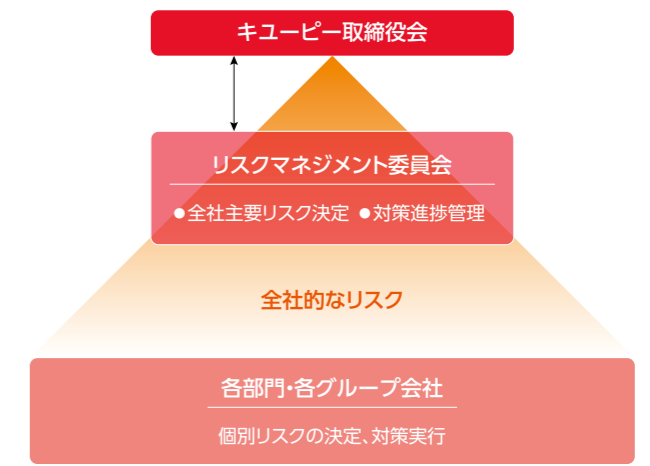
- 市場動向の変化
- 製造物責任
- 新型コロナウイルス感染症
- 海外展開
- 主要原料の調達
- 自然災害などの不測の事態
- 人材、労務関連
- 地球環境問題

これら全社的なリスクの評価や対応の方針・状況などについては、リスクマネジメント担当取締役が定期的に取り締役会へ報告しています。

## リスクの評価



## リスクマネジメント体制



## Topics

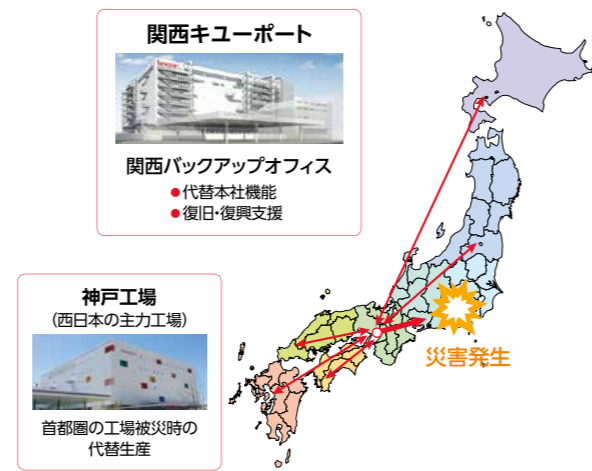
### 1 自然災害など不測の事態への対応

過去の災害の経験を活かし、グループ横断で危機発生時の事業継続計画(BCP)を以下のように整備しています。

- 東京にある本社の代替機能を関西に設置する体制の整備
- 非常時の通信ネットワークの整備や物資の備蓄
- 製造設備や物流体制の補強
- 不測の事態におけるの製造可否を確認できるシステムの整備
- 主要商品に関する生産や原資材調達機能および受注機能の2拠点化

さらにそれらを確実に運用できるようにするために大規模災害対応訓練(初動対応訓練や商品供給訓練、安否確認訓練)も行っています。

### 首都圏被災時の本社機能、生産機能バックアップ体制



### 地震発生時の対応事例

#### 時系列の対応

地震発生エリアの事業所と連動して緊急対応を開始  
地震発生直後に安否確認メール自動発信

4分後 緊急対応を開始

10分後 災害対策掲示板による情報の集約を開始

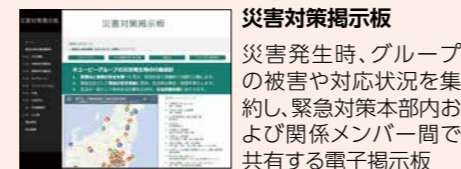
- 人事労務 従業員と家族の安否、親許安否
- 生産 工場の被害状況や製造への影響
- 物流 倉庫被害、道路や配送の状況やルート切替
- 営業 支店・営業所の被害状況
- ITシステム 通信への影響や復旧状況

50分後 地震発生エリアの全事業所の状況確認を終了

1時間以内で、概況の把握と経営層への情報共有完了

#### 基本的な対応方針

- ① 迅速な初動
- ② 情報の集約
- ③ 指揮の一元化



**災害対策掲示板**  
災害発生時、グループの被害や対応状況を集約し、緊急対策本部内および関係メンバー間で共有する電子掲示板

### 2 新型コロナウイルス感染症への対応

次の3つの方針を打ち出し、それぞれ取り組んでいます。

- 1 国や各自治体の対策に協力し、感染リスクを抑制する
- 2 食品メーカーとしての使命を果たす
- 3 キューピーならではの社会的な貢献を行う

お客様への安全・安心な商品を継続して供給し続けることが当社グループの使命です。事業所の活動停止を回避するために、国や各自治体のガイドラインに基づいて、体調管理、行動履歴の記録、手洗い消毒の励行などを徹底して行い、感染防止に努めています。さらに、IT環境を整備して商談や会議、研修などをオンラインで行う体制を整え、在宅勤務と組み合わせることによって出勤率をコントロールしています。

また、社会的な貢献として、医療従事者の皆様にバランスの良い食生活を維持していただけるよう、サラダを中心とした食の支援を行いました。株式会社KOMPEITOと協力し、病院施設に冷蔵ケースを設置し、当社グループで製造するサラダや惣菜、調味料を寄贈しました。



自動体温チェックによる工場入室管理(キューピー鳥栖工場)



医療従事者への商品提供

### 3 海外におけるリスクへの対応

2015年に本社のスタッフ部門横断プロジェクトを開始し、計画的に対応を進めています。海外でもグループの理念を浸透させる教育や研修を行うとともに、内部統制システム整備、事業継続計画、危機管理訓練などにより経営基盤の強化に取り組んでいます。また、重要技術情報の取り扱いおよび盤石なICTネットワークの構築や模倣品対策にも取り組んでいます。



海外でのリスクマネジメント会議の様子